

機能等要求詳細定義書

機能					機能		概要	
No.	種別 1	No.	種別 2	No.	種別 3	No.		
1	システム全般	1	システム共通事項	1	導入システム	1	納入会社が自社開発・導入が可能な、実績のあるパッケージソフトであること。	1
						2	水道標準プラットフォームのデータ仕様に準拠した項目が管理できること。	2
						3	システム導入時に高岡市の要望にあわせたカスタマイズが納入会社により可能であること。また、導入後においても同様とする。	3
						4	Webブラウザを使用したシステムとして構築されていること。	4
						5	上水道、下水道の統合システムであること。なお、下水道においては、農業集落排水のみの管理も可能であること。	5
						6	制限なく複数の料金体系（過去の消費税率等含む）を管理できること、また料金改定を実施した時にも、旧料金体系での試算ができること。	6
						7	過去の調定において、調定当時の料金体系を保持できること	7
						8	複数台の端末からの同時に入力が可能なシステムであること。	8
						9	マルチタスクに対応し、複数画面を同時に起動・処理が可能なこと。	9
						10	簡易ファイリング機能を搭載し、各種写真データやスキャニングした図面、帳票類、届書等の画像データを様々な情報として、システム保有の使用者情報や台帳情報などにリンクして複数の画像を容易に登録、表示ができること。	10
						11	帳票レイアウトは雛型サンプルが用意されており軽微な修正で使用可能であること。	11
						12	導入後でも、軽微な修正であれば必要に応じて対応可能であること。	12
						13	導入後でも、必要に応じて機能を拡張（アドオン）することが可能であること。	13
						14	システム導入時及び導入後、職員を対象とした研修会等を実施すること。特に、導入時初回の処理については、訪問立会いのうえきめ細かなサポート体制とすること。	14
						15	上下水道料金システム保有のデータを（使用者情報、水栓情報、メーター情報、調定情報等）を、いつでも抽出することが可能で提供できる機能を有すること。	15
						16	消費税のインボイス制度に対応し「適格請求書」またはそれに準ずる帳票については「登録番号」「適用税率」「消費税額等」の表示ができること。	16
						17	上下水道料金や使用水量などをWeb上で確認ができるポータルサイトの構築・運用が可能であること。	17
						18	将来的にポータルサイトの機能拡充が可能なこと。（ペーパーレスや電子決済、広域利用など）	18
						19	スマートメーター検針に対応ができること。	19
						20	eTAXに対応したシステムであり、システム導入と同時期に対応が可能であること。	20
						21	旧上下水道料金システム及び補助システム（Micro Soft Access）で、再現できていた機能、帳票出力、CSV出力については、再現可能及び実装できること。ただし、上位互換機能であったり、運用の見直しにより、高岡市上下水道局が承認した場合は、その限りでない。	21
				2	セキュリティ	1	パスワード等によるユーザー認証を利用し、ユーザー毎のアクセス制御・制限が可能であること。	22
						2	パスワード認証時の成否がログに記録され管理者が確認できること。	23
						3	パスワードの有効期限や有効期間の管理が行えること。	24
						4	パスワードの有効期限が過ぎている場合は期限切れのメッセージを表示し、パスワード変更を行ってからシステムの利用が可能なこと。	25
						5	パスワードの管理は、各ユーザー自身で変更が可能であり、前使用パスワードの使用禁止などの管理が可能なこと。	26
						6	検索情報の表示画面ごとに表示権限の管理を行うことで、ユーザー毎に表示可能な画面の制御ができること。	27
						7	異動・変更処理の処理ごとに処理権限の管理を行うことで、ユーザー毎に処理可能な権限の制御ができること。	28
						8	ユーザーに処理権限のない処理に関しては、メニューの非表示や選択不可の制御がおこなわれていること。	29
						9	個人毎の操作履歴（アクセスログ・更新ログ）の採取が可能であること。	30
						10	データの暗号化・不正アクセス防止策・コンピュータウイルス対策他の万全なセキュリティ対策が施されていること。	31
						11	検針用スマートフォンについてもデータの暗号化・不正アクセス防止策他の万全なセキュリティ対策が施されていること。	32
				3	ユーザインターフェース	1	GUI（グラフィカル・ユーザ・インターフェース）であること。	33
						2	コード入力時は、ドロップダウン、HELP画面等の入力補助機能を有していること。また、マウス操作等、操作方法が容易であること。	34
						3	必須入力項目と任意入力項目の識別が可能であること。	35
						4	入力した項目間で矛盾が発生しないよう、チェック機能を有していること。	36
						5	日付は、カレンダーから選択可能であり、休日（祝日や年始・年末休も含む）と平日を色等で識別可能な機能を有していること。	37
						6	検索処理において、複数の別水栓の情報画面の表示が可能なこと。ただし、入力ミス等誘発しないよう、制御又は制限が可能であること。	38
				4	EUC機能	1	必要に応じて任意に選択したデータをCSV形式・PDF形式等、外部加工できる形式での出力が可能であること。	39
						2	データ抽出時には抽出条件やソート順の指定が可能になっていること。	40
						3	データ抽出時、抽出条件やソート順といった抽出条件の全てを併せて、抽出できること。	41
						4	データ抽出時にはデータの利用目的を入力することができ、抽出条件・抽出件数と同様にログとして記録されること。また、登録されたログから抽出条件の再利用も可能なこと。	42
						5	EUC機能の利用は、分類ごとに利用権限の管理が可能なこと。	43

機能							
No.	種別 1	No.	種別 2	No.	種別 3		
				5	帳票印刷		
				1	出力する帳票類は環境保護に考慮し、プレビュー表示ができ拡大、縮小、プリンタ切替、ページ指定印刷が可能なこと。また、電子帳票（PDF形式）としても任意に保存・閲覧・印刷する機能を有すること。		
				2	全ての帳票で、帳票に出力している出力項目を、CSV形式のファイルに変換して出力することが可能なこと。		
				3	専用用紙を除き、出力する帳票類は全てA4版又はA3版へのオーバーレイ印刷方式とすること。また、両面印刷が可能なこと。		
				4	公印の印影登録ができ、公文書への印影印刷が可能であること。		
				5	納付書・督促状等をまとめて印刷するときにはナンバーリング出来ること。		
				6	納付書等、外部発送する専用用紙は、例外を除き圧着方式とする。		
				7	帳票については複数の旧行政地区単位でも発行できること。		
				8	パソコン側で処理される全ての帳票に関して、印刷・CSV・PDFへの出力が可能なこと。		
				9	発行するはがきタイプの用紙には、カスタマーバーコードを印字すること。 （納付書、督促状、メータ交換のお知らせ等）		
				10	出力されたすべての帳票の出力履歴が管理されていること。		
				11	出力帳票の履歴管理から各帳票を発行日や発行者、発行端末番号で検索できること。		
				6	運用管理		
				1	操作マニュアルは、使用者の立場に立ち、理解し易くかつ活用し易いものを作成し、電子マニュアルでシステム稼動時に納入すること。		
				2	操作マニュアルは操作画面からでも閲覧する事が可能であること。		
				3	入力項目は必要に応じてヘルプ機能を有すること。		
				4	帳票出力・異動処理などの処理結果は正常・異常に関わらずログとして記録され、システムの画面から確認できること。		
				5	プラットフォームを介して、システム運用サポートの遠隔支援が可能であること。また、要請により訪問による支援も行なえること。ただし、トラブル発生時に当日中の訪問・対応が可能であること。		
				6	システム維持管理保守として、ハード稼動状況、障害状況、バックアップ状況の検証などサーバ及びデータチェック等の定期点検チェックを毎月行うこと。		
				7	データバックアップは、自動処理とし、平常の業務に影響を及ぼさないように、AM（午前）2：00目途に実施すること。		
				8	システム本稼働前に操作研修を実施すること。 ・高岡市上下水道局職員に対し、十分な操作研修を実施すること。 ・料金徴収業務従事者に対し、業務に支障のないように十分な操作研修を実施すること。研修の回数に関しては、高岡市上下水道局との協議とする。 ・検針員に対し、業務に支障のないように十分な操作研修を実施すること。研修の回数に関しては、高岡市上下水道局との協議とする。		
				9	システム導入時及び導入後、高岡市上下水道局職員及び料金徴収業務従事者を対象とした研修会等を実施すること。 特に、本稼働時ならびに導入後の初回の処理については、訪問立会いのうえきめ細かなサポート体制とすること。また、運用上支障をきたす場合には、本仕様の範囲内で対応をすること。		
				7	データ移行		
				1	旧料金システムのデータ項目は、新料金システム更新に必要なデータ（メモ情報、対応履歴を含む）20年分を全てコンバートし、稼動時には情報の不足がないこと。（移行用CSVデータは提供できること）		
				2	現行のバーコード情報、口座依頼データ自由欄情報の解析を行い、新料金システム切替時に不具合なく対応が行えること。		
				3	データ移行において、作業者は上下水道業務及び上下水道用語に理解があり、確認作業において高岡市上下水道局職員への負荷を極力減らす体制で行うこと。		
	2	オンライン処理	1	メニュー	1	パスワード等を入力することにより、システムメニューが展開されること。	
					2	メニューにパスワードの有効期限や前回変更日が表示されていて、有効期限が切れる前にパスワードの変更が可能なこと。	
					3	システムが保有しているデータより日々水栓件数（開閉栓状態の件数）等、口座普及率、収納率が容易に画面上で確認できること。また、調定締めの現在（調定集計時）の情報表示も可能なこと。	
					4	業務スケジュールやイベントを確認できるカレンダー機能を有していること。また、業務予定の入力や完了報告の入力も可能なこと。	
					5	指定した日の開閉栓予定者や、支払誓約者・訪問予定者などの情報を一覧表示画面から確認できること。	
					6	指定した日に入力されたメモ情報や滞納者との交渉記録を一覧画面から確認できること。	
					7	上記の一覧画面から容易に該当者の照会画面に展開できること。	
					8	指定した日に受付した開閉栓の件数や、納付書の再発行件数、異動・変更処理の入力件数が確認できること。	
					9	それぞれの処理の途中でも別の処理画面を表示し対応が可能なこと（複数画面表示）。たとえば、異動処理入力中の検索などが出来ること。	
					10	起動時に入力する個人コードとパスワードにより、利用者ごとに設定したマイメニュー（処理のお気に入り登録）を使用することができる。	
				2	検索条件	1	使用者氏名（所有者）からの検索については、部分一致条件の設定や氏名漢字検索機能があること。
					2	全てのカナ文字の検索については、部分一致条件の設定や、ジ=ヂ、ズ=ヅなどのあいまい検索機能があること。また、濁音・半濁音・超音符を除外した検索が可能であること。	
					3	水栓・メータ・使用者・支払情報に関連する項目からの、複合検索機能を有すること。	
					4	メモ内容を条件に検索が可能であり、検索結果の一覧表示と照会画面との切替が容易に出来ること。	
					5	簡単な切り替え操作で最新の水栓使用者のみを検索できること。	
					6	検索結果の一覧表示よりCSVデータの作成が可能であること。	
					7	検索結果一覧では項目ごとに並び順（昇順・降順）を変更できること。	
					8	検索結果一覧と使用者情報画面を行き来できること。	

機能					
No.	種別1	No.	種別2	No.	種別3
				No.	概要
				9	各水栓毎に最新使用者と過去使用者（使用者履歴）が検索結果にて区別可能であること。
				10	直近に実施した検索結果（検索履歴）を最低30件以上管理できること。
		3	検索・照会処理	1	水栓、メーター、使用者、請求、調定、収納、異動履歴、下水道情報の各情報に関して情報照会が可能であること。
				2	「調定情報」及び「収納情報」については、過去5年分の管理ができ、さらに上水に関しては、消滅時効の該当が把握できること。
				3	「収納情報」については、複数回の入金（重複・分納）や還付がある場合にもそれぞれの入金（還付）日、入金（還付）額が把握できること。
				4	充当処理がおこなわれている場合は、充当元や充当先の調定年月や充当日・充当額の確認ができること。
				5	納付書については、分納（一部入金）に対応していること。
				6	コンビニ収納用のバーコードの有効期限を個人毎に自由に設定することが可能なこと。
				7	再発行納付書、精算納付書作成の場合、要、不要の選択により再発行、精算の表示を印字して発行できること。
				8	納付書の再発行は期別指定からの発行機能だけでなく、発行する金額を指定する事により、古い期別から指定された金額になるまで、自動的に納付書が発行が可能なこと。
				9	使用者との入金折衝記録及び任意のコメント入力機能を有すること（1件当たりの文字数は全角500文字まで入力でき、入力件数は無制限とする）。また、入力したコメントからの検索も可能なこと。
				10	検針データの取込後、調定確定前でも納付書の発行が可能なこと。また、調定前に発行した分については調定確定時に発行されないなどの工夫がされていること。
				11	コンビニエンスストア収納に関連して、速報済・確報済・入金済の表示ができること。
				12	表示中の使用者について、全未納額及び未納回数の表示ができること。
				13	使用者ごとに使用水量及び料金の変移がグラフで表示できること。
				14	使用者、送付先だけでなく所有者、管理者の情報が管理できること。
				15	料金のシミュレーション計算（お客様単位）ができること。
				16	表示中の使用者について、受付情報、メモ情報、還付情報、滞納整理情報の有無が表示できること。
				17	検索・照会画面から容易に変更入力画面へと展開が可能であること。データ更新を行う上で、不具合なく処理ができること。（排他などの制御がされていること。）
				18	メモ情報は、照会画面上から容易に登録・変更・削除が可能であること。また、任意の単語等により検索や抽出が可能なこと。
				19	登録されたメモ情報は、スペース（空白）と改行による文章としての見易い状態で表示されること。
				20	登録されたメモ情報は、登録日順や情報内容順、入力者順などに並べ替えが可能であり、メモ情報の文字数は1件あたり全角500文字まで入力でき、登録する量に制限がないこと。
				21	使用者情報とリンクしたファイリング機能として、図面、誓約書や現地調査・メータ故障などの複数の画像を容易に登録、表示ができること。
				22	個人情報開示禁止情報について、使用者情報とリンク登録が可能であり、該当使用者の検索時には誰が検索しても解る様に視覚的判断が可能な画面表示や警告される機能を有すること。（DVや暴力団等）また、表示に関しては対外的な配慮が施されていること。
		4	受付処理	1	使用開始及び中止の予約受付機能があること。
				2	支払い変更及び名義変更の予約受付機能があること。
				3	受付入力したデータから、当日の開始及び中止の予定の画面表示や、帳票への出力が可能なこと。
				4	当日の開始及び中止予定の情報に、完了入力を行うことにより開閉栓業務の進捗確認が可能なこと。
		5	新規登録処理	1	「上水のみ」、「上下水（水道）」、「上下水（水道+井戸）」、「下水のみ（井戸下水）」の4パターンについて、新規登録処理が可能であること。
				2	新規登録時、お客様番号を地区（旧市町村）コード毎の自動付番で設定できること。
				3	新規登録時、給水台帳等の番号を設定できること。
				4	新規登録時、既に別水栓にて使用者情報が登録されている場合には、個人情報の複写ができること。
				5	使用者が決まっている場合はそのまま開始処理、決まっていない場合は水栓情報のみ登録できること。
				6	電話番号を2件登録できること。
				7	市外の住所を登録する際、郵便番号（全国）検索ができること。
		6	使用開始処理	1	開栓届用紙には、前回検針（中止分も含む）した日付、指針等のデータが印字されること。
				2	選択した中止中（閉栓中）及び開始受付中の水栓について、開始処理及び使用者登録処理ができること。（開栓、中止の届出者も入力、修正ができること）
				3	使用者登録時、既に別水栓にて使用者情報が登録されている場合には、個人情報の複写ができること。
				4	使用開始にあたっては、上下水登録の水栓では下水道も連動し開始となること。
				5	使用開始後の初回検針時の使用期間について、0～1ヶ月間を上水、下水それぞれ半月単位で設定できること。
				6	井戸使用者に対し、井戸の下水使用水量（認定水量）の登録ができること。
				7	水道使用時及び井戸使用時の下水使用水量（認定水量）の登録ができること。
		7	使用中止（精算）処理	1	選択した使用中（開栓中）及び中止受付中の水栓について、中止処理及び最終料金の計算（精算）ができ、一連の処理で支払方法の調整ができること。

機能					
No.	種別1	No.	種別2	No.	種別3
				No.	概要
				2	中止処理時にすでに当月分の定時調定が発生している場合、既に発生している定時調定分に対し変更調定と精算分とを合算して随時調定を容易に登録できること。また、定時調定と随時調定を別々に容易に登録することもできること。
				3	転居（転出）先の情報が登録できること。
				4	中止に伴うメーターの施工方法の登録ができること。
				5	使用中止にあたっては、上下水登録の水栓では下水道も連動し中止となること。
			8	メーター撤去処理	1メーター撤去時の方法として（預かり、撤去等）の登録ができること。
			9	給水停止及び給水停止解除処理	1選択した使用中（開栓中）の使用者について、給水停止及び解除の処理ができること。なお、解除にあたっては、それまでの滞納状況を引継ぐこと。
				2	給水停止中でも調定（納付書）ができること。
			10	支払情報変更処理	1選択した使用者について、支払方法及び郵送先の変更ができること。（現金、口座、金融機関、口座番号、郵送先氏名、郵便番号、住所、検針票への領収金額表示可否等）
				2	口座情報変更の際、他水栓で同一金融機関情報が存在するかのチェックができること。
				3	口座情報変更の予定登録ができること。
				4	金融機関の統廃合に備え、店番、及び店名等の一括変更ができること。
			11	名義変更処理	1中止、開始に依らず、所有者、管理者、使用者及び送付先の氏名、住所等の名義変更ができること。
			12	検針データ修正処理	1選択した使用者について、当月検針したデータに不備があった場合（検針誤謬）、指針、水量、金額等の修正及び追加ができること。また、検針票の再発行もできること。
			13	調定変更処理	1選択した使用者について、調定の修正及び追加ができること。なお、調定金額は水量他計算根拠の変更に伴い、自動計算ができること。
			14	還付処理	1選択した使用者について、過誤納入状態の調定がある場合に、還付及び他期別調定への充当処理が上水・下水それぞれにできること。
				2	還付加算金の算出、管理ができること。
			15	その他修正処理	1水栓、使用者、メーター、請求、調定、収納、履歴、下水道の各情報について、管理項目の修正入力が可能であること。修正内容に関しては変更前情報を履歴として管理できること。
				2	入力コードに対応する各種名称ファイルについて、追加、修正、削除ができること。
			16	入力チェック処理	1異動・変更処理で入力されたデータのチェックリストの出力が可能なこと。
				2	チェックリストの出力は、日付や担当者などの抽出条件の指定や出力順の指定が可能なこと。
2	料金関連	1	検針管理	1	検針員毎に検針担当地区のスケジュール表が出力できること。
				2	「1」で作成したスケジュールを利用して、検針員、検針地区ごとに検針データの作成処理がおこなえること。
				3	検針該当水栓のデータを市指定のレイアウト及び媒体に作成できること。
				4	必要に応じて、検針員、検針地区毎の順路一覧表を出力できること。
				5	水道使用者へ任意の広報用メッセージが入力できること。
				6	スマートフォンより指針入力後のデータを端末側もしくはサーバー側へ転送・更新できること。
				7	検針員毎に使用水量の過多、過少、漏水疑義、認定検針、中止中かつ使用水量ありなど調査対象水栓のチェックリストが出力できること。
				8	過多、過少、漏水疑義、認定検針、中止中かつ使用水量ありなど調査対象になったデータは、過去にさかのぼって画面から確認することができること。
				9	検針中に異動処理がおこなわれたり、料金算定項目の変更があったデータのチェックがおこなえること。
				10	検針員毎に未検針水栓のチェックリストが出力できること。また、全地区一括でも未検針水栓のチェックリストが出力できること。
				11	スマートフォンでの検針前後に料金の計算根拠（指針・口径・用途・使用状況・漏水設定など）に変更があった場合に、調査対象水栓のチェックリストが出力できること。
				12	検針委託料計算のため、検針員毎の検針実績集計表が参考として出力できること。
				13	検針期間外に検針を行うため、再検針調査票を出力できること。出力形式は帳票によるものとする。（レイアウトの指定なし）
				14	既に登録済みの検針結果の履歴に対し、検針日や指数などの数値を異動できること。また、新規に検針履歴を作成できること。
			2	検針機器	1井戸水使用の場合、世帯人数より汚水排水量の算定ができること。
				2	水道水と井戸水を使用の場合、地区（旧地区等）ごとに汚水排水量の算定方法の変更が可能であること。
				3	水栓各々に登録されている検針用のメッセージがスマートフォン上で表示できること。また、あらかじめ登録された検針期間以外で検針した場合にもメッセージが表示されること。
				4	お客様番号、メーター番号、未検針水栓など、3種以上の検索条件を備えていること。
				5	検針順路の変更が容易にでき、また元の順路への復帰も可能であること。
				6	上水、下水ともに複数の料金体系及び単価による計算処理が可能であること。
				7	過去分と前年同月の検針時の水量が画面で確認できること。また、参考として過去の検針の平均使用水量が画面で確認できること。
				8	検針時に前回指針との指針差より使用水量を計算し、今回料金の計算ができること。また、メーター回転及びメーター交換があった場合も自動計算ができること。
				9	下水排水量は原則的に上水使用水量とし、上水メーター水量への加算・減算、下水メーター等の特殊計算への対応ができること。
				10	中途の開始及び下水開始に伴い、月数を自動的に判定できること。

機能					
No.	種別 1	No.	種別 2	No.	種別 3
					概要
				11	指針入力後は即時「使用水量のお知らせ」（以下「検針票」という。）が発行できること。用紙は専用感熱紙とし、検針日付、使用期間、使用者氏名、所在地、前回指針、今回指針、水量、概算金額、納入期限（振替予定日）の他に前回分の口座振替済通知が出力できること。また、再発行もできること。
				12	中止中水栓への検針機能があること。
				13	漏水発見、未検針（認定）等の際にその理由を入力する機能があること。
				14	使用水量の妥当性が判断でき（異常水量）、警告メッセージや警告音で検針員へ通知する機能があること。その判断基準は管理者により任意に設定できること。
				15	検針票に使用者に対する任意のメッセージ（定型文等）出力ができること（40文字）。また、データ登録時に、システム内に反映できること。
				16	メーター位置情報の画面表示、変更ができること。
				17	検針期間中（検針データ作成後）、検針員が事情により検針できなくなった場合に一時的に他の検針員に検針区を割り振って検針できること。
				18	集合住宅などメーター位置と集合ポストが離れている場合等では検針のたびに検針票が出力されるとかえって不便であるため、指定したお客さまについては検針票を後からまとめて出力できること。
				19	スマートフォンにより写真を撮ることが可能（撮影時に水栓毎に紐づけられること）で、撮った写真はシステム上で閲覧できること。
				20	万一の盗難、不正使用に備え、スマートフォンの操作にあたっては、パスワードその他個人認証を行う強固な機能を有していること。（内部データは暗号化されていること）
	2	調定管理	1	端末処理	1 調定漏れ（未調定）があった場合の確認リストを出力できること。
				2	同一使用者について、同一調定年月に複数の調定（定例分・精算分）を発生させることができること。ただし、調定確定した場合、調定確定した月の調定の更正や追加調定の入力ができないこと。
				3	井戸単独使用など、検針対象外の水栓について、料金の自動計算機能があること。また、計算チェックリストを出力可能なこと。
				4	親メーターの水量と対応する子メーターの合算水量との間に一定以上の差が生じた場合に、親メーター（水栓）または親子の差（仮水栓）への料金賦課ができること。また、計算したチェックリストの出力も可能なこと。
				5	口座振替依頼にあたっては、当月分及び前月再振替分の他に、使用者の要望による過去分（随時請求分）も振替依頼（定期分に含める）が可能であること。
				6	口座依頼データ作成時に前月再振替分・随時請求分の振替依頼一覧表を出力することができる。また、口座消込処理時に振替結果の一覧表出力も可能なこと。
				7	口座振替は定例分と再振分の依頼が行えること。
				8	各種調定資料において、必要に応じて上水道事業、下水道事業、工業用水道事業、水洗便所改造資金貸付基金償還金を分けて資料の作成が行えること。
				9	納付書及び督促状、メーター交換のお知らせについては郵便カスタマーコードを出力し、郵送代削減が行えること。
				10	料金早見表の代わりに、簡易料金計算が行えること。また、個人毎の情報画面でも計算が容易にできること。
				11	納入通知書等には、消込処理及びコンビニエンスストアにて使用するバーコード及びOCRの読み込み項目出力が可能であること。
				12	納付組合番号を付しているものは、番号ごとにリストを作成、CSVで抽出することが可能なこと。
	3	収納管理	1	共通	1 入金区分別（現金、口座、コンビニ）、調定年別、収納日別ごとに収納額を集計した集計表が、日計の単位で随時出力できること。
				2	調定年別、収納日別ごとに収納額を集計した集計表が、月計の単位で随時出力できること。
				3	消込処理時に正常消込できなかったデータ（重複納入、過誤納付、内入金）のチェックリストが出力可能なこと。
				4	過誤納付者または内入金（分納）により、完納になっていないデータのリストの打ち出し及び、CSVデータへの出力が随時できること。
				5	納入日（お客様が支払った日）、収入日（会計上の入金日）の他に消込処理を行った日（処理日）、口座振替については、口座振替日も管理できること。
				6	分納、内入金など、1つの調定に対して入金が複数回の場合も、それぞれの入金情報（日付、金額、入金方法）が管理できること。また、納入回数に制約のないこと。
				7	消込処理後に給水停止対象者、給水停止執行者、分納誓約者のチェックリストが出力できること。
				8	本消しまでの未納制御を行うことが出来ること。また、仮消しの確認用のリストが出力されること。
				9	各種収納資料において、必要に応じて上水道事業、下水道事業、工業用水道事業、水洗便所改造資金貸付基金償還金を分けて資料の作成が行えること。
				10	調定時に合算（複数の調定）で請求された情報に対して、納付書消込、口座消込、コンビニ消込時には自動で内訳の複数の調定に収納されること。
				11	使用者が水道料金等を支払った場合に、支払ったことを証明する書類「納入証明書」の発行ができること。また、消費税のインボイス制度にも対応したものであること。
			2	現金分消込処理	1 窓口収納分の納入済通知書をバーコードリーダー又はOCR等により一括して読み取り、消込処理ができること。また、仮消込機能も有していること。
				2	納入済通知書の重複読込についてメッセージ表示を行うなど、操作ミスを防ぐ機能を有していること。
				3	手入力操作によるバーコードの読込みも可能なこと。
			3	コンビニエンスストア分消込処理	1 コンビニエンスストア（収納代行会社）から受信した速報データにより、仮消込処理ができること。
				2	仮消込した使用者情報では、コンビニエンスストアの社名、店舗での支払日、支払い時間、金額が画面表示できること。

機能					
No.	種別 1	No.	種別 2	No.	種別 3
				No.	概要
				3	上記速報データ及び確報データは、各処理後に退避（累積）できること。
				4	速報データ受信及び仮消込処理後に取消データを受信した場合に対応ができること。
			4	口座振替分消込処理	1 口座振替日の他に金融機関毎の収納日を設定でき、かつ金融機関毎及び選択した金融機関一括の消込処理が可能であること。
				2	消込処理前に金融機関ごとに入金日・振替日・振替件数・振替金額が確認できるようになっていること。
				3	金融機関別・金融機関支店別に統計資料が作成できること。
				4	消込処理後、振替成功者には、次回検針時に振替済お知らせが検針票に反映、振替不能者には、再振替通知書や納入通知書の発行ができること。
				5	シーラー様式については、納入会社のデータセンターの電算処理で将来的な対応が可能であること。
				6	口座振替は定例分と再振替で引き落とされた口座振替の結果が収納管理できること。
				7	上水道・下水道、工業用水道、水洗便所改造資金貸付基金償還金での口座消込が出来ること。
				8	口座振替データは指定する金融機関のフォーマット形式であること。
				9	口座消込は、金融機関別に行えること。
			5	還付	1 口座情報の登録がない使用者へ料金の過誤納により還付金が発生した旨を通知するため還付通知書の発行を行えること。
				2	使用者が窓口で過誤納金を受取りに来た場合、還付したことをシステムに入力できること。
				3	使用者が窓口で過誤納金を受取ったことを確認するため、領収書（受取確認書）を発行できること。
				4	登録口座へ過誤納金を還付したことをお知らせするため還付完了通知を発行できること。ただし、会計システムを介して返金する場合など、必要に応じて運用の選択が可能であること。
				5	料金が過誤納となり発生した過誤納金を現在未入金となっている未納額に充当できること。
				6	過誤納金を充当したことをお知らせするため、充当通知書を発行できること。充当先料金、充当金額、充当後残額をお知らせする。
		4	未納管理	1	未納状況管理
				1	任意の抽出条件、日付時点設定により、未納者リストの打ち出し及びCSVデータへの出力が随時できること（お客様番号、調定年月、期間指定、未納金額指定、未納回数指定、地区指定、口径指定）。
				2	納付書、督促状、催告書などの一括出力後、郵送までの間に発生した収納に関して引き抜き用の一覧表を発行できること。
				3	各種未納資料において、必要に応じて上水道、下水道、農業集落排水事業、工業用水道、水洗便所改造資金貸付基金償還金を分けて資料の作成が行えること。
			2	給水停止	1 給水停止対象者に対して給水停止通知書が個別で出力できること。
				2	給水停止通知書の発行履歴が残ること。また、発行一覧表が出力可能なこと。
				3	給水停止対象者の未納明細書が出力できること。
				4	給水停止通知書の出力後に任意のタイミングで、給水停止対象者の納入状況が把握可能なチェックリスト出力が可能なこと。
			3	滞納整理	1 任意の使用者について、滞納整理記録（入金折衝記録）の内容・履歴の入力が件数の制限なく可能であること。また、照会画面にて随時確認できること。
				2	未納金額・収納金額の明細や訪問時の記録等を、個人別滞納整理記録簿として出力できること。
				3	水栓場所に現住していない使用者について、現住所の管理が可能であること。中止後の転居先についても同様とする。
			4	不納欠損	1 上下水別々の不納欠損が可能であり、不納欠損するタイミングも上下水別々に行うことが可能なこと。（上水は2年又は5年（民法改正後）で欠損、下水は5年で欠損など）
				2	不納欠損するデータは、欠損対象期間に関わらず任意でデータ追加することも可能なこと。同様に、欠損対象期間のデータの一部を欠損対象から除外することも可能なこと。
				3	不納欠損の対象データをお客様番号別・調定年月別に出力した一覧表出力、及びCSVデータへの出力が随時できること。
				4	不納欠損になった調定に対して入金があった場合、消込処理前にアラーム表示されるなどの制御がおこなわれていること。
				5	不納欠損になった調定に対して入金があった場合、欠損した調定に対しても（簿外資産へ）消込を行うことが可能なこと。
				6	不納欠損処理後にも不納欠損前の未納額を簿外資産として管理し、システム画面より確認することが可能であり、一覧表への出力も可能なこと。
			5	延滞金、遅延損害金	1 将来の機能拡張用に、納期限までに支払いのない使用者へ延滞料金及び遅延損害金を加算できること。
3	メーター管理関連	1	メーター管理	1	端末管理
				1	メーター区分ごとの検定満期の帳票打ち出しできること。
				2	地区別、口径別、公設私設別、使用状況別に水栓戸数（メーター設置戸数）集計が随時出力できること。
				3	交換年度別、交換年月別、口径別に水栓戸数（メーター設置戸数）集計が随時出力できること。
				4	検定満期該当の一覧表（検定満期メーター取替一覧表）が出力できること。
				5	検定満期時の大量交換を行った取り外し指針の入力後のチェックリストが出力できること。
				6	同じメーター番号で開閉栓を無制限に繰り返しできること。
				7	メーター交換時に指針の桁数を変更しても対応できること。
				8	検定満期時の交換を行った取り外しメータの指針を写真撮影した画像データのファイリング機能として、お客様情報と容易にリンクし登録、表示ができること。
4	その他業務	1	月次管理	1	月次資料
				1	当月に調定の増減（更正）があったデータの一覧表を出力することが可能なこと。
				2	当月に調定の増減（更正）のあったデータを調定年月別に集計し、金額の増減および、件数の発生・削除を出力することが可能なこと。
				3	還付したデータのリストの打ち出し及び、CSVデータへの出力が随時できること。

機能							
No.	種別 1	No.	種別 2	No.	種別 3	概要	
						4 充当したデータのリストの打ち出し及び、CSVデータへの出力が随時できること。	255
						5 調定年度＞調定年月ごとに、調定／収納／未納の件数・金額の集計出力が行えること。また、過去の時点に遡って集計結果を把握することが可能なこと。	256
						6 納付書・督促状・検針票・給水停止通知等の件数など条件設定で毎月・年間の簡易集計ができること。	257
		2	事業管理	1	料金シミュレーション	1 料金改定案策定時に、複数の料金案パターンを設定可能であること。	258
		2 料金案パターンに基づき、過去実績水量（過去検針実績データ）を活用し料金試算が可能であること。	259				
		3 水道料金、下水道使用料それぞれの料金試算が可能であること。	260				
		4 料金だけでなく、基本水量や段階水量の変更ができること	261				
		5 「用途別」から「口径別」へ変更する改定シミュレーションができること。また、逆のパターンもできること。	262				